

令和2年度暁中学校経営方針

1. 本年度の経営方針

地域とともにある学校づくりに取り組み、生徒・保護者・地域から信頼されるよりよい学校として、生徒が通いたい学校、保護者が通わせたい学校、教職員が勤めたい学校を目指す。

○ よりよい生徒づくり

- ・ 確かな学力を身につけ、基礎基本の確実な定着と主体的にものごとを適切に処理できる「知」の能力を育てる。
- ・ 自己肯定感を高めさせるとともに、相手を理解し、よりよく生きようとする「徳」の能力を育てる。
- ・ 心身ともに健やかで、生涯にわたって健康に過ごすことのできる「体」の能力を育てる。

○ よりよい教職員づくり

- ・ 明るく元気な教職員集団をめざすとともに、自己研鑽に努め、教師の資質を高めるなど、互いに認め合い、高め合い、助け合うようにする。
- ・ 全教職員が共通理解のもと、「率先垂範」「師弟同行」を念頭において、教育愛に徹した教育活動を実践する。
- ・ 生徒一人一人の人格や個性を尊重し、生徒の心に寄り添い、生徒の姿を見届ける指導を念頭において、個に応じた教育活動に取り組む。

○ よりよい学校づくり

- ・ 家庭及び地域との連携・協働・共育と情報発信を積極的に行い、信頼される開かれた学校をめざす。
- ・ 地域とともにある学校としての役割を果たすとともに、地域の人的・物的資源を活用して、社会に開かれた教育課程の実現に努める。
- ・ 本校の伝統文化を大切につなげ、不易と流行を見極めながら持続可能な教育に取り組む。

2 本年度の重点目標

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入により、地域との連携・協働・共育を通して、教育活動全体で、健康教育及び人権・道徳教育を柱に生徒の教育にあたる。

○ 「知・徳・体」の能力に関すること

- ・ 主体的・対話的で深い学びを意識して、生徒一人一人が学び合う授業づくりに取り組み、わかる授業を通して、確かな学力の定着を図る。
- ・ 家庭で机に向かう習慣を継続させるために、家庭学習の充実を図る。
- ・ 健康教育及び人権・道徳教育を推進し、「自分の命と大切な人の命を守る」「かけがえのない自分」「かけがえのない仲間」を意識した生活ができるようにする。
- ・ 「時を守り、場を清め、礼を正す」を常に意識した基本的生活習慣の確立をめざし、「凡事徹底（誰にでもできることを、誰にもまねできないくらいやり続ける）」を身に付ける。
- ・ 基礎的な体力を培い、劣っている能力を補うとともに、運動の楽しさや喜び・充実感や満足感を実感できる取組を推進する。

○ 学校・家庭・地域に関すること

- ・ 学校ホームページや各種の通信・たよりなどで、積極的に情報を発信し、家庭や地域の理解を深める。また、生徒の積極的なボランティア活動への参加を進める。
- ・ 学校運営協議会と地域学校協働本部との連携・協働を通して、教育活動や環境整備などの取組をさらに進める。